

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4 年 2 月 17 日

公表:令和 4 年 3 月 10 日

事業所名 愛育学園すみれ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		保育室、サンルーム等、限られたスペースの中で密にならないよう人数に応じて工夫している	今後も継続していく
	2	職員の配置数は適切である	○		子どもに対して1対1または2対1の割合で手厚く配置している。	引き続き適切に配置していく
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○		障害の特性により、今後必要な場合は絵カードなどを用いてわかりやすく伝えていく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		コロナ禍のため、いつも以上に換気や消毒をこまめにしている。また、換気をしているので室内の温度が保たれるようヒーターを増やし調整している	今後も消毒や換気を徹底しながら、心地よい空間を作っていく
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		ミーティングやツールを活用して、勤務時間の重なりが少ない非常勤職員を含む職員間の緊密かつ効率的な情報共有の仕組みを整えている	今後も継続していく
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に一度、評価を実施し次年度に向けて改善点など職員全体で話している。評価結果はHPで公表している	ご意見を取り入れながら、今後もより良い療育ができるよう改善する
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		職員全体で評価の結果を討議し、次年度に向けて改善等取り入れている。評価結果はHPで公表している	今後も継続していく
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		令和2年度に第三者により外部評価をおこなっており、業務改善につなげている	今後も継続していく
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		今後、職員全員が研修の機会を持てるよう確保していきたい
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		送迎時や面談、職員間での話し合いの中でひとりひとりに合った計画を作成している	今後も、一人ひとりに寄り添いニーズに合わせた支援計画を作成していく
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			今後も継続していく
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		面談等で保護者の要望や、園の様子をお伝えし、保護者と一緒にはっきりと支援目標を考え、それに基づき支援内容を設定している	今後も継続していく
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			今後も継続していく
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員全体で意見交換をしている	今後も継続していく
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		四季折々の活動を考えている	今後も継続していく
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		子どもひとりひとりの成長を鑑み、支援計画を作成している	今後も継続していく

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝、一日の流れや支援内容、連絡事項など、しっかりと打ち合わせをしている	今後も継続していく
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		退勤時間が早い職員もいるため、ツールを使用し一日の振り返りや連絡事項等共有している。その日に出動していない職員も把握できている	今後も継続していく
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録するとともに、ツールにて職員の共有を行っている	今後も継続していく
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		日々の療育の中で、職員同士が子どもの様子を伝え合い、段階に応じて見直しの必要性を判断している	今後も継続していき、見直しの部分を保護者に伝えていく
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			今後も継続していく
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて関係機関と連絡を取り合い連携した支援を行っている	連携を大切に今後も継続していく
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			保護者を通じて情報共有し支援している
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			協力医療機関とは連携体制を整えている
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて関係機関と連絡を取り合い連携した支援を行っている	今後も必要に応じて連携した支援をしていく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者や関係機関を介し、情報共有を図っている	必要に応じて卒園児の保護者と連絡を取り合い、相互理解を図っている
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて関係機関と連絡を取り合い、連携し助言を受けている	今後も継続していく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			近隣に交流できる園が無い。あれば是非交流していきたい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			積極的ではないが参加している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時、電話、面談、ツールなどで常に共通理解を持っている	今後も継続していく
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			今後、研修等取り入れていきたい
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		年度初めに説明を行い、質問等は常に受け付けている	今後も丁寧な説明を心がけていく
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			今後も継続していく
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			今後も寄り添った支援をしていく

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		コロナ禍なので、大人数での参加は難しい状況だが、少人数での集まりなどはいつでもできるよう支援している	今後も寄り添った支援をしていく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		いつでも対応できるようにしている	今後も寄り添った支援をしていく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		HPを積極的に活用していく
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			今後も継続していく
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			今後も寄り添った支援をしていく
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		ボランティアを受け入れている
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			わかりやすいマニュアルを策定し、今後も継続していく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月、火災や地震を想定した避難訓練を実施している	毎月、実施している。今後、保護者に様子をお伝えしていく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に服薬について確認している。その後は登園時と連絡帳にて二重に確認している	今後も継続していく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			保護者を通じてその都度対応しているが、今後は必要があれば医師の指示書を確認していく
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットノートを作成している	今後も継続していく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			研修の機会を増やしていく
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			身体拘束をすることは無いが、座ることが不安定でベルトを着用する場合は、保護者に伝えるようにしている

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。